

発行：いすみ市議会 編集：議会だより編集委員会 2008. 2. 1 発行  
〒298-8501 千葉県いすみ市大原7400番地1 TEL 0470-62-1406 (議会事務局)

ホームページアドレス <http://www.city.isumi.lg.jp/> メールアドレス [gikai-gizi@city.isumi.lg.jp](mailto:gikai-gizi@city.isumi.lg.jp)



▲昨年11月、木更津市のかずさアカデミアホールにおいて、千葉県南12市議長会主催による議員研修会が開催されました。県南12市の議員が一堂に集まり、政策研究大学院大学教授の飯尾 潤氏を講師に迎え、「衆参ねじれ時代の政治展望」と題した講演が行われました。(写真上)

▲議会だより編集会議の様子(写真下)

## 主な内容

- 平成19年第4回定例議会概要 2ページ
- こんなことを決めました 2ページ
- 委員会審査報告 4ページ
- 一般質問 6ページ

## 第9号

平成19年  
第4回 定例議会

# 平成19年 第4回 定例議会

## いすみ市の基本構想など13議案を審議しました

第4回定例議会は12月4日から17日までの14日間の会期で開催されました。

この定例議会で審議された議案は、いすみ市の基本構想の策定、条例の制定及び一部改正議案、平成19年度補正予算及び教育委員会委員の任命等の13議案が提出され、いずれの議案も原案のとおり可決・同意されました。

また、医療等に関する陳情が2件提出され、いずれも審議の結果、採択されました。

このほか、国会等に対する意見書の提出にかかる議員提出議案が4件提出され、それぞれ審議した結果すべて可決され、それぞれ関係機関に意見書を送付しました。

一般質問は、10人の議員が行い、市政に関する諸問題について活発な議論が展開されました。

12月定例議会では  
こんなことを決めました  
議案の内容

### 市長提出議案

◎いすみ市基本構想を定めること【可決】

〔付託委員会〕  
総務常任委員会

（いすみ市の新しいまちづくりを、より発展的かつ具体的に示すことを目的に、計画期間を平成20年度から平成29年度までの10年間とし、施策の大綱を定め、すべての市民が健康で豊かで幸せに暮らせるよう策定したもので、地方自治法の規定により議会の議決を求めたものです。）

〔付託委員会〕  
総務常任委員会

（合併により公民館並びに運動施設等の「公の施設」の使用にかかる料金に不統一が多いことなどから、料金の見直しを行い、併せて使用料に係わる「使用料規定」「徴収規定」「減免規定」「還付規定」等の事項を一本化した条例を制定し、同時に、公民館の設置及び管理に関する条例等、複数の「公の施設」の条例に規定されていた使用料に係わる条文を改正したものです。）

◎いすみ市使用料条例の制定【可決】

〔付託委員会〕  
いすみ市公民館の設置及び管理に関する条例等の一部改正【可決】

〔付託委員会〕  
いすみ市職員の勤務時間、

〔付託委員会〕  
休暇等に関する条例の一部改正【可決】

〔付託委員会〕  
いすみ市職員の育児休業等

に関する条例の一部改正  
【可決】

◎いすみ市一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正  
【可決】

〔付託委員会〕  
総務常任委員会

（地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が公布され、少子化対策として、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立が可能となるよう、小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、育児短時間勤務制度が規定されたことから、関係条例の一部を改正したものです。）

◎いすみ市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正  
【可決】

〔委員会付託省略〕

（職員の不祥事による指揮監督者としての道義的責任により、市長の給料を一ヶ月間10%減額するものです。）

◎平成19年度いすみ市一般会計補正予算(第7号)  
【可決】

〔付託委員会〕

各委員会の所管ごとに分割付託

（歳入歳出にそれぞれ3898万4千円を追加し、予算総額を143億4919万5千円としたものです。）

◎平成19年度いすみ市一般会計補正予算(第8号)  
【可決】

〔委員会付託省略〕

（歳入歳出にそれぞれ545万円を追加し、予算総額を143億5464万5千円としたものです。）

◎平成19年度いすみ市水道事業会計補正予算(第2号)  
【可決】

〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

（収益的収支の支出に740万円を追加し、支出総額を18億542万3千円とし、資本的収支の支出に3013万5千円を追加し、支出総額を5億256万4千円としたものです。）



## 人事案件

◎いすみ市教育委員会委員の任命  
【同意】

（丸 義昭氏 再任）

◎人権擁護委員候補者の推薦  
（2件）  
【同意】

（渡邊康俊氏 新任）  
（長谷川正子氏 新任）

## 陳情

◎介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画中止を求める意見書提出を求める陳情書  
【採択】

〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

◎保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情書  
【採択】

〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

## 議員提出議案

◎日豪EPA(経済連携協定)

／FTA(自由貿易協定)交渉に対する意見書について  
【可決】

〔委員会付託省略〕

（交渉にあたり、米、小麦、牛肉、乳製品、砂糖などの農林水産物の重要品目について、関税撤廃の対象から除外すること、農業・農村の多面的機能の発揮と、国内自給による食料安全保障の確保を基本とし、各国の多様な農業が共存できる貿易ルールを確立することを求め、関係省庁等に意見書を提出するものです。）

ものです。）

◎介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画中止を求める意見書について  
【可決】

〔委員会付託省略〕

（陳情の願意に沿い、医療や介護の現場を無視した介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画を中止すること、住民が安心して暮らせるよう、医療、介護、福祉制度や施設等の基盤を充実させることを求め、関係省庁等に意見書を提出するものです。）

◎道路特定財源に関する意見書について  
【可決】

〔委員会付託省略〕

（道路特定財源を、その制度趣旨に沿って一般財源化することなくすべて道路整備と関連する道路施策に活用すること、地方公共団体が必要とする道路整備が計画的に推進できるよう道路特定財源諸税の暫定税率を延長するとともに、地方道路整備臨時交付金制度を継続することを求め、関係省庁等に意見書を提出する

◎保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書について  
【可決】

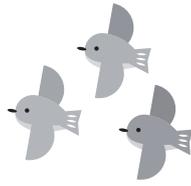
〔委員会付託省略〕

（陳情の願意に沿い、保険給付の範囲が年々縮小されている中、保険で歯周病の治療・管理が十分にできるとともに、保険でよりよく噛める入れ歯が提供できるなど、保険でよりよい歯科医療が行えるよう求め、関係省庁等に意見書を提出するものです。）

委員会  
審査  
報告

12月11日と12日に、付託された議案等を審査するため各常任委員会が開催されました。

ここでは、紙面の関係で、委員会で行われた主な議案の質疑及びその答弁について掲載いたします。



総務常任委員会

議案7件について審査を行いました。

議案第1号 いすみ市基本

構想を定めることについて

問 総合計画の策定にあたって、ベースとなる財政面に触れるべきではないか。

答 今後、基本計画策定時には財政見通しの中で触れていきたい。

問 市内には活かし方によって何千人何万人と集客できると思われる場所があり、地域別の土地利用についても計画の中にあってもいいのではないか。

答 土地利用構想における市民の土地利用に関する市民アンケートの結果を受けて、今後、都市計画を考えていかなければならないものと捉えています。

問 「今後10年間でいすみ市政に特に力を入れてほしいこと」についての市民アンケートの結果、「保健・医療施設及び体制の整備充実」「高齢社会への対策」が上位を占めているが、市としてアンケート結果に 대응する方策は。

答 基本構想の実現に向けて、6項目の基本方針の中の一つに「健康で安心とや

さしさを実感できる住みよいまち」と定めているが、現在、基本計画を定めるにあたって各課と協議中であり、年内に取りまとめ、具体的に調整していきたい。

議案第2号 いすみ市使用料条例の制定について

議案第6号 いすみ市公民館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

(制定及び改正理由が関連しているため、一括審議しました。)

問 岬公民館と大原文化センターの陶芸釜の市外利用者の使用料が大きく異なる理由は。

答 両施設の釜はいずれも電気釜であるが釜自体の大きさ、契約電力量に差があり、それぞれの基本料金の差によるもので、市外利用者には基本料金を負担していただき、市内利用者については基本料金を除き、素焼きから本焼きまでの電気料金相当分を設定したもので

す。

問 各施設において会議室等を利用した場合に、準備等で前日から使用した場合に前日からの使用料を要するののか。

答 閉館時間を除きその利用時間の使用料を徴収することになります。

議案第3号 いすみ市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第4号 いすみ市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第5号 いすみ市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(改正理由が関連しているため、一括審議しました。)

問 議案の改正内容とは直接関係しないが、年次有給休暇の取得率が低いようだが、取得率の向上には努めているか。

答 今後、極力職員が年次有給休暇を取得できるよう努めたい。

議案第7号 平成19年度いすみ市一般会計補正予算のうち、総務常任委員会の所管するものについて

問 まちづくり市民提案事業補助金の減額補正の理由は。

答 一団体あたりの補助金交付額は想定していた額を超えていたものの、補助金を交付した団体が当初見込んでいた団体数に至らなかったため減額するものです。

民生環境常任委員会

議案2件、陳情2件について審査を行いました。

議案第7号 平成19年度いすみ市一般会計補正予算のうち、民生環境常任委員会の所管するものについて

問 被用者児童手当の減額と被用者小学校就学前特別給付の増額の理由は。

答 被用者児童手当の対象者  
180人分が被用者小学校  
就学前特例給付の対象とな  
ることから予算の組替をす  
るものです。

問 福祉タクシー事業助成金  
について、タクシー料金が  
値上がったことによる対応  
は。

答 1回の利用に対する助成  
限度額が1300円となつ  
ており現時点では検討して  
いない。

議案第8号 平成19年度い  
すみ市水道事業会計補正予算  
について

問 有収率を上げることによ  
る効果は。

答 有収率が上がるというこ  
とは、効率的にダムから家  
庭へ給水することができ、  
ダムの水の温存や、浄水す  
るにあたっての電気代、薬  
品等の水を作るコストの縮  
減など歳出の抑制に非常に  
効果があります。

陳情第1号 介護療養病床  
廃止・医療療養病床削減計画  
中止を求める意見書提出を求

める陳情書

陳情第2号 保険でよりよ  
い歯科医療の実現を求める意  
見書採択を求める陳情書

これらの件については、い  
ずれも地域住民が、いつで  
も、どこでも安心して医療や  
介護を受けられることと、保  
険でより良い歯科医療を受け  
るためには必要であり、願意  
に沿って意見書を提出するべ  
きとの意見がございました。

### 産業建設常任委員会

議案1件について審査を行  
いました。

議案第7号 平成19年度い  
すみ市一般会計補正予算のう  
ち、産業建設常任委員会の所  
管するものについて

問 市道岬3128号線(押  
日地先)の用地買収の状況  
と事業の見通しは。

答 当該用地に関係する地  
権者は2名で、隣接地との  
境界が確定できない等の理

由により用地買収は難しい  
が、その反対側には水路等  
があるので、当初の計画よ  
り歩道部分の幅員が少し狭  
くなるが、車道部分は2車  
線を確保できるので、事業  
としては全線完了する見込  
みです。

問 災害発生時に崩落した土  
砂の内、個人の土地の土砂  
撤去はどうしたか。

答 個人の土地の土砂につい  
ては、基本的には地権者の  
対応となります。

問 大原駅前のイルミネー  
ションの電気代が高額だ  
が、その算出根拠は。

答 平成16年度に実施した実  
績を基に算定した。

### 文教常任委員会

議案1件について審査を行  
いました。

議案第7号 平成19年度い  
すみ市一般会計補正予算のう  
ち、文教常任委員会の所管す  
るものについて

問 大原小学校の遊具撤去に

あたり、処分手数料が発生  
しているが、撤去遊具の材  
質は何か。また、クリーン  
センターに搬入・処分でき  
ないのか。

答 材質は鉄製で処分につい  
てはコンクリート製の基礎  
部分があるため直接搬入は  
不可能です。

問 撤去した後に新たな遊具  
を設置するのか。

答 予算的に可能であれば設  
置していきたいが、まず危  
険な遊具の撤去を優先した  
い。

問 大原小学校及び大原中学  
校の職員室空調工事設計業  
務委託料について委託料の  
積算根拠は。

答 部屋の広さと想定工事費  
を勘案し千葉県の積算基準  
により見積りました。

問 他の小中学校の空調機設  
置状況は。

答 夷隅及び岬地域の小中学  
校の職員室と保健室は設置  
済みであるが、大原地域の  
小中学校が未設置なため、  
今後も計画的に設置を進め  
たい。

問 各公民館バスの使用料の  
現状と有料化についてはど

うか。

答 現在、運行している各公  
民館バスは、有料道路代金  
等の実費負担を除き使用料  
は無料で、有料化について  
は社会教育法の規定により  
有料にすることは出来ない  
ことになっていきます。

問 給食センターの燃料費に  
ついて、給食の年間日数が  
決まっているなかで、前年  
度の使用量を参考に予算化  
すれば、補正予算は必要な  
かったのでは。

答 燃料の値上がりが予想以  
上だったため、補正するも  
のです。



# Q&A 一般質問 市政をきく

12月定例議会の一般質問は、12月6日に市政に関する諸問題について質問が行われました。

ここでは、紙面の関係で要約した質問及び答弁の一部を掲載いたします。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。(12月定例議会の会議録は2月下旬に公開を予定しています。)



**熱田議員** 悪条件な水田は、耕作を頼んでも受け手がなく、農地の集積や用排水路の管理ができれば、米以外の作物の栽培も可能になり、若い担い手も出てくると思うが、土地改良事業の現状と今後の計画推進について伺いたい。

**産業建設部長** 土地改良事業(経営体育成基盤整備事業)の実施地区は、平成19年度現在、大原地域の新田野地区、夷隅地域の作田地区、岬地域の榎沢地区の3地区で、県営基盤整備事業が実施されています。

今後の計画は、現在、岬地域の夷隅川1期地区が中滝・松堀・押日・東中滝・井沢地区で、受益面積129.4ヘクタールの経営体育成基盤整備事業を平成21年度新規採択に向け

て、各地区土地改良事業実行委員会、関係受益者、千葉県夷隅農林振興センター、いすみ市とで協議を重ね、計画概要書等関係書類の整備を進めています。

**熱田議員** 市外から人を呼び込み、過疎化に歯止めをかけると共に、地元経済の活性化にその施策が大きな反響を呼んでいる自治体があるが、団塊の世代を迎え、多くの人が地方を向いていると言われる中、その人達との交流により、地域再生が期待できると思うが、考えを伺いたい。

**産業建設部長** 農業振興の新たな取り組みとして、都市住民との交流や市民の余暇活動の推進を図る目的で、ふれあい農園を開設し、交流拠点としての役割を果たしています。

また、地場産業の参加型観光体験による観光客の誘致並びに特産品の宣伝と消費拡大を図ることを目的とした事業として、サマーフェスティバルいすみを開催しました。

梨狩り体験、ブルーベ

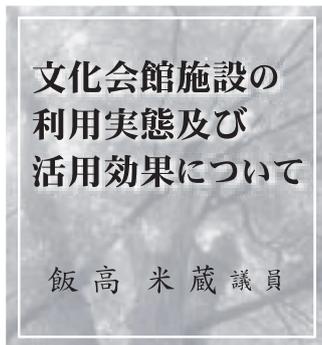
リー摘み取り体験等、農産物等を盛り込み、首都圏をターゲットにいすみ市の農産物のPRをし、大勢の方々に好評を得ることができたイベントであったと考えます。そのほか、都市との交流事業の一環としていすみ米の田植え・刈り取り体験等も好評でした。

さらには、春に向けての菜花の摘み取り体験販売、フキノトウ、フキの刈り取り販売等を首都圏に向け情報発信し、田舎暮らし願望が強い団塊世代の人々を含め、いすみ市の魅力を積極的にアピールし、地域の活性化と交流を図ることにより、首都圏からの転入者が増え、市の活性化に繋がればと考えています。また、今後関係機関と十分協議し、四季を通じて首都圏に向け、いすみ市の魅力ある情報を総合的に発信できるように、検討していきたいと考えています。

【熱田議員は、この質問のほか、「介護予防策」について質問しました。】



▲榎沢地区で行われている土地改良事業



**飯高議員** いすみ市では旧3町に各1施設の文化会館を保有していますが、それら3施設の利用実態を伺いたい。

また、文化関連団体の活動が活発になってきている傾向にあると思われるが、より効果的に施設利用するため

の施策として具体的にどのような事業推進をしているか。

さらに、今後の運営方針と重点目標を伺いたい。

**教育長** 市内の文化会館施設は、1月の成人式をはじめ、市主催の各種式典の開催、女性の会や社会福祉協議会等による敬老会・福祉大会、一般団体による講演会、社会教育団体による演奏会や発表会、公民館主催による文化祭、そして業者の実施する興行にと幅広く利用されています。

ホール部分の利用状況は、夷隅文化会館は、18年度42回、6974人、19年度は10月までで23回、4495人の利用がありました。夷隅文化会館は、椅子を収納して多目的に利用でき、この形態での利用が、平成18年度は169回、3623人、19年度は10月まで108回、2488人の利用がありました。

大原文化センターは、18年度は53回、1万5194人、19年度は10月まで15回、4441人の利用があ

りました。

岬ふれあい会館文化センターは、18年度は57回、2万810人。19年度は10月まで20回、7729人の利用がありました。

また、市内3公民館を利用する文化団体は、夷隅公民館に37団体、大原公民館に60団体、岬公民館に59団体あり、毎年各公民館とも1団体程度増え、活発な活動をしている状況です。

今後、団塊の世代が退職する時期となり、このような文化団体の活動がますます活発になるものと思われます。市としては、今後とも文化団体の一つでも多くなり、ますます活発な文化活動ができるよう、利用しやすい体制の充実を図っていきます。

今後、3文化会館を合理的に集約的に活用していくために、市民の皆様や文化団体に有効的に利用していただくことはもちろんですが、3施設の特徴ある設備や立地条件に加え、利用人数に即した会館の運営をしていく考えです。

## 子育てしやすい環境をつくることについて 後期高齢者医療制度について

岩井 豊重 議員

**岩井議員** よりよい「子育てしやすい環境」をつくることについて、出産育児一時金の増額や、保育料の値下げ、母子家庭への育児救済策、安心して長時間預けられる保育所が欲しい、いすみ地域の保育所の統合等、これら全てを実施するということではなく、優先的に実施を願う声があります

が、市の考えを伺いたい。市長 国民健康保険加入者に対する出産育児一時金は、平成18年10月以降の出生に関して、30万円から35万円に引き上げを行ったところ

です。保育料は、合併時から国基準額の7割に引き下げて、保護者の皆様に負担いただいていたましたが、本年度から低所得の方の更なる負担軽減措置を図ったところ

です。母子家庭の救済策については、経済的な支援策であ

種の保育サービスについては、引き続き内容の充実に向けて努めていきます。

**岩井議員** 後期高齢者医療制度について、市民にも制度の自身が知られてくる中で、悪い制度との印象を持たれている方もいると思うが、市の対応はどのようにするのか伺いたい。

**市民生活部長** 現時点で、市民の方々から意見等は寄せられていませんが、「広報いすみ」等により制度の周知を図っていきたいと考えています。

また、市民の方から、制度改正の要望等が多くあった場合は、広域連合と連携をとり、対応を協議していきたいと考えています。

本制度については、準備期間が短い中での制度開始となりますが、後期高齢者の方々にはふさわしい医療の提供が円滑に行われるよう、市としても、全力で準備に取り組んでいきたいと思っております。

【岩井議員は、この質問のほか、「障害者自立支援法」について質問しました。】

## ドクターヘリの発着地について 観光振興策について

中村 松洋 議員

中村議員 緊急医療体制の強化を図るために、千葉県では、ドクターヘリの運航を実施しているが、市内におけるドクターヘリの発着地は、どこに設定されているのか。また、今後のヘリポートの増設の計画はあるのか伺いたい。

市長 平成13年10月1日から、

日本医科大学附属千葉北総病院を基地病院として、千葉県ドクターヘリ事業が開始されました。ドクターヘリは、救急専用の医療機器等を装備したヘリコプターに、救急医療の専門医及び看護師が同乗し、消防機関等の要請により救急現場に向かい、救急現場から医療機関に搬送する際、救命医療を行うことのできる救急専用ヘリコプターです。

このドクターヘリの導入により、医師による速やかな救命医療の開始と併せて、高度な医療機関への迅速な収容が可能となり、重症救急患者の救命率の向上が期待される場所です。

現在、いすみ市内のヘリポートは、大原グラウンド、大原中学校、岬運動場、文化とスポーツの森スポーツ広場の4箇所を夷隅郡市広域消防本部で指定しています。

また、今後の増設については、特に考えていませんが、今後、夷隅郡市広域消防本部と協議して、必要であれば新たなヘリポートを設けるよう検討したいと考えています。

中村議員 いすみ市の重要な

産業の一つである遊漁船業は漁協の経済的運営にも重要なものであり、釣り客が訪れることで、地域経済への波及効果、都市と漁村の交流、国民の休暇の利用といったことにも貢献していると感じているが、市では、釣りを観光資源の一つとして

位置づけ、PRする考えはあるか。

産業建設部長 漁協では、漁獲高が年々減少傾向にあり、この厳しい状況の中でも遊漁船の経営は盛んで、74軒の登録があり、魚の水揚げの収入源のほかに、遊漁船業は今後の漁協経営の活路を見出すと考えられます。

いすみ市は、日ごろから「人が集まり物の動く元気な魅力ある地域づくり」を目指していますが、歴史・文化等に限らず、農林水産業と連携した「参加体験型観光」を取り入れる企画を、

本年から「サマーフェスタイベント」として、「アジ釣り」・「自然観察クルーズ」で実施し、このような地域の資源を活用した事業は、今後の観光振興の上で重要な位置づけになると考えています。

また、地域観光の活性化を図るため、漁協と市が連携し、遊漁船のPRを進める考えです。

【中村議員は、この質問のほか、「九十九里浜養浜事業」について質問しました。】



▲千葉県で実施しているドクターヘリ事業  
重症救急患者の救命率の向上が期待されます。

## 医療に対する 支援について

田井 秀明 議員

以上に、費用も高額になることも多く、経済的理由から、十分な治療を受けることができず、子どもを持つ方も少なくないと思われま

田井議員 不妊症に悩む人、不妊治療を受ける人たちに経済的、精神的な面での公的支援が必要と考えるが、いすみ市での現状と考えを伺いたい。

市民生活部長 不妊治療は、身体的、精神的負担も大き

厚生労働省は、都道府県、指定都市、中核都市を対象とした特定不妊治療費の助成制度を設け、千葉県でも、平成17年から特定不妊治療を行う方を対象に、治療費の一部が助成されています。いすみ市では、現在同様の助成は行っていない

が、当面は県の助成制度を活用していただきたいと思  
います。

なお、不妊治療は心の問  
題とも関係してくるので、  
相談援助については、関係  
機関と連携を図りながら取  
り組んでいきたいと考えて  
います。

**田井議員** 現在、小学校入  
学前まで医療費が無料と  
なっているが、これを小学  
校卒業まで拡大した場合の  
予算はどれくらい必要とな  
るか。また、これを実施し  
た場合の財源の確保はどう  
するのか。さらに、小学校  
卒業までの医療費の無料化  
は、いすみ市においても有  
効な少子化対策・子育て支  
援策と考えるが、市の考え  
を伺いたい。

**市民生活部長** 現在、医療費  
に係る支援制度は、乳幼児  
医療費助成事業を実施して  
います。現在の県の補助基  
準は、4歳未満児の通院・  
入院に係るもの、及び4歳  
児から小学校就学前の入院  
に係る助成が対象です。そ  
れに対し、いすみ市では、  
市単独基準を設け、0歳

児から小学校就学前児童に  
ついて助成を実施していま  
す。財源負担は、県基準に  
該当する者の2分の1が県  
補助金、残りが市単独財源  
での運用です。

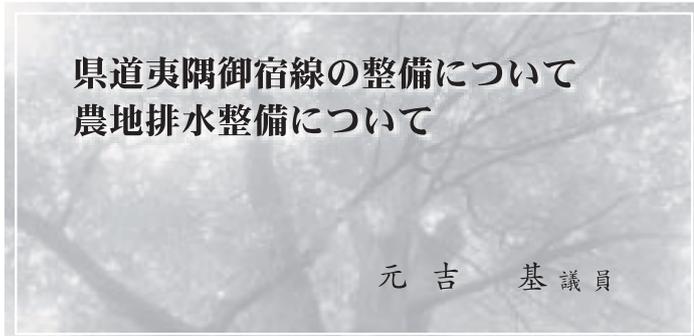
また、市単独事業として、  
小学校就学児を対象に、学  
童医療費助成事業を実施し  
ています。対象は、3日以  
上の入院に係る医療費で、  
財源は全額市単独財源で運  
用しています。

平成19年度における医療  
費の必要見込み額は、約5  
500万円です。その内、市  
単独負担額は約4000万  
円を見込んでいます。

乳幼児医療費の無料化  
を、小学校卒業まで拡充し  
た場合の概算金額は現在推  
計中ですが、学童に要する  
医療費は、乳幼児医療費よ  
りも少ないと思われる、事業  
を実施する場合の財源の確  
保については、総体的に予  
算の中で検討していきたい  
と考えています。

小学生の医療費の無料化  
は、子育て世代の経済負担  
の軽減と、子どもの健全育  
成のため、子育て支援の重

要な施策として、実施に向  
け、検討している状況です。  
【田井議員は、この質問の  
ほか、「介護予防策」、「次世  
代育成支援」、「行財政改革」  
について質問しました。】



元吉基議員

**元吉議員** 県道夷隅御宿線の  
いすみ市山田二区泉水商店  
前より、山田新町交差点ま  
での道路は、長年未整備の  
まま放置されているが、今  
後の整備の見通しはあるの  
か伺いたい。  
併せて交差点付近の歩道



▲幅員が狭くなる県道夷隅御宿線の山田二区地先交差点

整備が全く進んでいない状  
況だが、今後の整備計画を  
伺いたい。

**産業建設部長** 山田二区地  
先の県道夷隅御宿線の整備  
は、国道465号との交差  
点に接続することから、変  
則的な交差点となってお  
り、交差点全体の形状を考  
慮した検討が必要です。

道路管理者である県で  
は、本事業の必要性の認識  
はあるものの、国の施策に  
おいて、交通安全施設整備

は、国道または県道のい  
れかが採択要件となってい  
て、当該箇所の整備は、県  
単独事業となります。県  
では、限られた予算の効率  
性を高めるために、集中的  
に事業を進めているところ  
で、現在進行中の事業の進  
捗状況や、地域の交通状況  
を勘案して検討したいとの  
ことです。

**元吉議員** 平成19年7月14日  
の台風4号による記録的な  
大雨で、過去に水害のなかっ

たいすみ警察署入り口信号付近の民家でも床下浸水に見舞われましたが、大原1176番地地先周辺の埋め立てによる排水対策について伺いたい。

**産業建設部長** 当該箇所現地調査を実施したところ、スパーマーケットの駐車場の拡張による埋め立て箇所であり、駐車場後背地の遊休農地からの排水は、既存の駐車場東側に1箇所、北側に1箇所の農地からの排水管が埋設され、国道128号に沿って信号機付近の排水路に流れている状況です。7月の豪雨により周辺は冠水し、国道128号の通行にも支障が生じたところでした。

今後の対策としては、農地所有者のご理解を得て、駐車場南側の既設排水路に排水管を接続し、豪雨時の被害の軽減に努めたいと考えています。

【元吉議員は、この質問のほか、「観光振興」について質問しました。】

## ごみ収集について 県道夷隅瑞沢線バイパス工事について

高梨 庸市 議員

**高梨議員** 可燃ごみの収集で、月曜日が休日または日曜日の振替休日になった場合、金曜日の朝にごみを出してから、次の収集まで5日間可燃ごみがたまり、困っているという話を聞いています。

月曜日など収集が休みの次の収集日には、多いときには普段の約2倍までに収集量が上がるときも見られるようで、通常でも月曜日はごみ量が多く、環境衛生の面からも、振替休日に可燃ごみを収集することはできないか。

**市民生活部長** 可燃ごみ収集は、週3回(月・水・金)の実施で、夷隅・岬地域及び大多喜町分をいすみクリーンセンターで処理し、大原地域分については、御宿町清掃センターへ委託して処理しています。

いすみクリーンセンターは、地元からの強い要望

により、土日・祝祭日は休日であり、御宿町清掃センターも同様に休日です。

振替休日に収集することとなると、可燃ごみは月・水・金に、市内全域で収集することが、市民の間では既に定着し、これを変更するとすると、混乱を招くことが予想されます。

一方、市では、御宿町の休日の受け入れを要望し、

御宿町清掃センターの同意が得られるかが問題であり、さらに、負担金も増額するものと思われま

す。仮に、いすみクリーンセンターで処理することになった場合、ピットの収容能力は日最大96トンで、平成19年度のいすみクリーンセンターへのごみ搬入量は、日平均で約63トン。大原地域では約47トンで、日平均の合計ごみ量は約110トンとなり、14トンがオーバーとなります。

ピット内に数日前の焼却できなかったごみが相当量

あり、現在、職員の時差出勤及び休日出勤等で処理している状況です。したがって、休日収集は、非常に難しい問題であり、今後はさらに検討する必要があります。

**高梨議員** 作田地区の県道夷隅瑞沢線のバイパス工事は、今年度中に着工予定と聞いているが、計画の進捗状況を伺いたい。また、その工事終了後予定されている基盤整備の着工及び完成予定はどのようになっていくか伺いたい。

**産業建設部長** 県道夷隅瑞沢線のバイパス工事は、東京電力所有の鉄塔に近接することから、鉄塔への工事による影響や補強対策の検討を10月末に完了したところです。

事業主体の千葉県夷隅地域整備センターでは、今後、早急に鉄塔補強工事や道路改良工事に着手する予定と伺っています。

作田地区の県営基盤整備事業の見通しは、千葉県夷隅農林振興センターに確認したところ、平成20年度事



▶ 夷隅・岬地区及び大多喜町の可燃ごみを処理しているいすみクリーンセンター

生活環境の整備について  
いすみ鉄道について

荒 井 正 議 員

業として、暗渠排水工事を主要工事とし、そのほか排水路護岸工が予定されています。

事業の最終年度予定である平成21年度事業は、用水路工事及び暗渠排水工事が予定されています。

【高梨議員は、この質問のほか、「保育所施設」について質問しました。】

荒井議員 家庭用小型合併処理浄化槽の普及状況及び設置不可能地域への対策を伺いたい。

産業建設部長 家庭用小型合併浄化槽の普及状況は、平成18年度末で約39%です。流末が確保できない等やむ

を得ない事情により、放流ができないところの対策は、蒸発散方式等の浄化槽で対応していただいています。

今後は国・県の補助金の確保に努めながら、合併浄化槽の普及促進を図るとともに、流末が確保できるよう、側溝等の整備を図り解消に努めていきます。

荒井議員 市のまちづくり「いすみ鉄道」が欠かさないものとしての認識について伺いたい。また、いすみ鉄道再生会議の結果を受け、存続の可能性、さらに、存続の可能性を高めるために、どのような取り組みが考えられるか伺いたい。

市長 いすみ鉄道は、高校生など地域住民の重要な交通手段であるとともに、将来的にも観光鉄道として、また高齢化の進展や環境への取り組みの観点からも大きな役割を担っており、重要な鉄道であると認識しています。

10月29日のいすみ鉄道再生会議では、今後、会社・地域住民・自治体が一体となって、いすみ鉄道の再生

に取り組み、平成20年度、21年度を検証期間とし、再生の方向を客観的に判断することになりました。

また、これからの再生のための取り組み策としては、経営体姿勢の見直し、代表取締役社長の民間からの登用、人件費の抑制、各種乗車券の販売、鉄道関連グッズの販売、観光商品の企画・販売など。また、地域支援策としては、地域内サポーターからの寄付金の募集、地域外サポーターによるファン倶楽部の設立、枕木と花壇オーナーの募集、観光大使によるPR、さらに自治体の取り組みとして、職員による利用促進、環境への取り組み、市のイベントとの連携、いすみ市内の循環バスといすみ鉄道との接続連携による利用促進を図るとともに、平成19年10月1日に施行されました「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「地域公共交通活性化再生総合事業」や地域の活性化に資する鉄道活性化総合支援パッケージなど、

国が創設を予定している新たな支援制度を活用し、地域づくり、まちづくりと一体となった鉄道利用の促進策を併せて推進し、存続に

ビチャ川の異臭問題について  
災害時の通信手段の確保について

横山 正樹 議員

横山議員 ビチャ川の水質検査方法と、汚泥の除去についての考えを伺いたい。

市民生活部長 生活水準の向上により、環境汚染が社会問題になっているが、特に準用河川ビチャ川は、流域が住宅密集地域のため、そこから排出される家庭雑排水と上流域に一部の水産加工場があることから、水質汚濁と悪臭対策には大変苦慮しているところです。

その対策として、旧大原町で、昭和59年度千葉県モデル設置整備事業により、家庭雑排水処理施設を整備し、昭和60年4月から稼働し、水質浄化を図っています。その処理方式は、ビチャ川から原水を取水し、二槽あるバッキ沈殿槽及び脱臭

向け努力したいと考えています。

【荒井議員は、この質問のほか、「福祉の充実」について質問しました。】

設備等により処理し、処理水をビチャ川に戻すものです。

水質検査は、家庭雑排水処理施設で原水及び放流水を年4回、また、河川水質検査を年2回実施しています。検査項目は、PH(水素イオン濃度)、BOD(生物化学的酸素要求量)、S(浮遊物質)、DO(溶存酸素含有量)及び大腸菌群数です。

ビチャ川は、河口が大原漁港沿いのため、台風等により漂着ごみが流れ込む河川でもあります。市では、夏季シーズンに合わせ、漂着ごみ等の撤去作業を実施しています。河床に堆積する汚泥については、平成16年度に浚渫工事を実施した

ところですが、今後とも河川の状況を観察しながら、適正な維持管理を行うとともに、汚泥の除去についても検討していきたいと考えています。

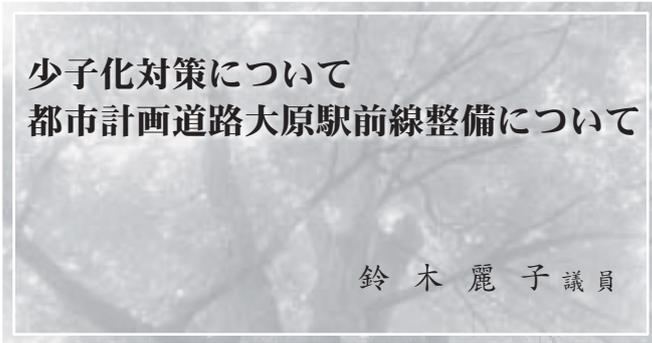
**横山議員** 岩船、大舟谷、矢指戸地区における災害時の通信手段の確保について、関係機関との協議等、その後の対応と進捗状況について伺いたい。

**市長** 7月の台風4号により、岩船地区は特に被害が大きく、短時間ではありましたが、孤立状態になったことから、市内の通信不能地域の解消に向け、7月に千葉県知事に対し、「携帯電話通信不能地域解消についての要望書」を提出し、県から携帯電話各社に、通信不能地域解消について、強く働きかけていただくよう要望したところです。

県から正式な回答ではないが、岩船、大舟谷、矢指戸地区に3基の携帯電話の中継局を設置する予定と聞いています。もちろんこれで全ての通信不能地域が解消されるわけではないが、

今後とも通信不能地域の解消に向け、さらに強く働きかけていきたいと考えています。

【横山議員は、この質問のほか、「学校給食の安全性」、「釈迦谷運動公園」について質問しました。】



少子化対策について  
都市計画道路大原駅前線整備について

鈴木麗子議員

**鈴木議員** 少子化は正策の推進として、少しでも子育て家庭を応援しようと、市内で買物をする際に、割引サービスや特典などを得られる事業を開始するなど、ユニークな政策を展開する

地方自治体が多くなっています。

また、前回の一般質問でも、妊産婦の無料検診について伺いましたが、胎児や母親の健康状態を診断する妊婦検診の公費負担が2回から5回へと拡充されている自治体もあり、保険の適用外である妊婦検診の拡充は大変喜ばれていると伺いました。

**厚生労働省は、無料検診5回を基準に各自治体へ働きかけると明言しています。市のその後の考えを伺いたい。**

**市長** 市では、人口の減少に歯止めをかけ、活力を維持し、引き続き少子化並びに子育て支援対策を進めていくため、市内の商店を経営されている皆様などのご協力による子育てパスポート事業の実現に向けて、検討をしているところです。

また、妊婦健診の5回の無料化につきましても、現在、実現に向けて検討を進めているところです。

**鈴木議員** 都市計画道路大原駅前線の未買収地の状況と

全線開通までの予定を伺いたい。

**産業建設部長** 都市計画道路の未整備部分の進捗状況ですが、現在、市道大2061号線から駅前商店通りの区間約90メートルが未完成となっています。現在、地権者と鋭意交渉を行っており、基本的な考えではご理解をいただいています。

**事業の予定ですが、今年度、警察協議のための交差点設計資料の作成、下協議、また用地測量の前段の境界確認測量を予定しています。来年度、交差点の形が決定後、面積測量、補償物権となる建物等の調査を行い、土地取得、補償の契約に向けて進めます。**

実際の道路としての完成ですが、現時点では明確ではないが、事業費が多額となるので、市の財政状況を判断しながらの実施となるものと考えています。

【鈴木議員は、この質問のほか、「国道465号整備」について質問しました。】

編集後記

皆様、新しい年をどのように迎えられるでしょうか。

最近のニュース等では、痛ましい事件が続々と報道されておりあります。特に子どもや高齢者が被害の対象となったり、無差別な犯罪も多く発生し、不安をおおっておりますが、新年が平穏無事で、市民の皆様にとつて輝かしい年でありますようお願いいたします。

まだまだ寒い日が続くものと思われまます。お体には十分ご自愛ください。

本年も市議会に対し、ご支援ご協力をお願いいたします。

議会を傍聴しませんか

3月定例議会日程(予定)

2月26日(火)10時	開会
28日(木)10時	議案の上程
3月3日(月)10時	一般質問
4日(火)	議案質疑
5日(水)	委員会
6日(木)	委員会
7日(金)	委員会
17日(月)10時	委員長報告 議案審議
	閉会